

令和2年度

尼崎の教職員を支援するために

令和2年度事業計画

令和元年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局

教育総合センター

学び支援課

令和2年度 『尼崎の教職員を支援するために』

令和2年度 事業計画		ページ
1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	3
3	具体的な取組	4
4	研修をすすめるにあたって	5
5	研修体系図 ※別添参照 P7	6
6	研修一覧表	8
7	研修計画	10
8	研修担当分担表	16
9	文部科学省・県教委等の実施する研修一覧	18
令和元年度 事業報告		
10	令和元年度 研修報告	19
11	令和元年度 教育研究部会の概要報告	25
12	令和元年度 教科書センター事業報告	29
13	令和元年度 教育情報の収集・整理事業報告	29
資料		
	欠席届（様式3） 学び支援課長 あて	30

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育てるために、教職員の資質向上を目的とした教職員の研修や、学力調査等の調査研究等に関する事業等を担当し、学校間の実践的な取組を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

<運営方針>

兵庫県は、令和元年度に教育の基本計画である第3期「ひょうご教育創造プラン」を策定し、その中で、「兵庫が育むところ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成とともに、教職員の資質能力の向上などを目指している。

また、本市においては、令和2年度から今後5年間の教育の方向性を定めた「尼崎市教育振興計画」に基づき、「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」を柱にした教育行政を進めることとなっている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性に従い、教職員の資質や指導力向上を目的とした研修に加え、学力調査等の研究・分析や新たな教育課題に対する先進的な研究、学社連携事業等に取り組むため、研修体系や教職員の不断の研究と修養を支援する。

教育総合センターの学び支援課では、①研修担当②調査・研究担当③教育情報担当があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。

<教職員法定研修事業>

(1) 教職員研修

教員一人一人のキャリアプランを踏まえた幅広い研修体系に基づいた各種の研修を実施する。初任研・年次研・中堅研等の基本研修、教科等の指導力向上をめざす専門研修、時宜で必要とする特別研修に加え、学社連携事業の研修も実施する。

(2) 教職員研修（体罰防止の特別研修）

市として体罰再発防止の取組を一層強化する必要性から、外部の専門機関に委託し、令和2年度からの3年間を集中期間として「体罰防止にかかる特別研修」を実施する。

(3) 学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、自主的研究を推進し活性化を図る。教員自主研究グループの活動を補助し、書籍購入等を支援する。

また、先進地域の学校・園へ5日間程度赴き、先進研修を受けるための、旅費や宿泊費等を補助し、教員の指導力育成を支援する。

(4) 中核市法定研修

県の定めた研修以外にも中核市として、新規採用教員に対して、採用の日から1年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。

また、中堅教員に対しては、教員の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を、個々の能力・適正やニーズに応じて実施する。

＜あまっ子ステップ・アップ調査事業＞

教育委員会と学校が児童生徒の学力と学習状況を把握し、教育活動に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため、小学校は全学年、中学校は1年・2年を対象に、学力調査と生活実態調査を実施する。また、「ステップ・アップ調査活用部会」において、各校における調査結果の分析・活用方法を研修する。

あわせて「学びと育ち研究所」は、調査結果のデータを活用し、外部研究員とともに多面的な研究・分析を行う。

＜未来の学び研究事業＞

社会の変化や学習指導要領の改訂に伴い、新たな教育課題や ICT 等を活用した教育の充実に向け、これまでの「アクティブ・ラーニング学習モデル研究事業」を「未来の学び研究事業」に変更し、多様化する教育課題の研究を行い、教職員の指導力向上を図る。

また、小学校におけるプログラミング教育実践に向け、プログラミング教材やソフトウェアなどの効果的な活用方法を研究する。

(1) ICT を活用した学習モデル研究

「ICT 活用研究部会」において、タブレット PC や大型テレビ、プロジェクターなどを活用した効果的な学習モデルを研究する。

(2) 発展的な教育手法研究

「STEAM 教育研究部会」において、STEAM 教育やプロジェクト・ベースド・ラーニングなど、深い学びを目指す教育手法を研究する。

＜教育情報収集・提供事業＞

教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係者に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

- ・「教育あまがさき」の発行（年2回）
- ・「教育総合センターだより」の発行（年4回）
- ・教育図書の間覧、貸出し
- ・「教育情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネット上で毎月）

＜調査研究・教材開発事業＞

(1) 当面する教育課題について実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を得て、本市教育の充実に資する。

- ① 授業力向上研究部会（アクティブ・ラーニング授業改善の実践）
- ② 体力向上研究部会（リズムジャンプのモデル実施）

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業することに伴い、学習に著しい遅れが生じないように、HP上に「家庭学習支援サイト」を開設するとともに、クラウドサービス「BOX」の活用を推進する。また、生徒が自宅等で動画教材やドリルなどを活用することができるオンライン学習支援システム「スタディサプリ」を、市立中学校と全日制市立高校に導入することで学習の保障を図る。

2 研修体系策定の方針

<研修体系について>

尼崎市教育振興基本計画の中の「令和2年度の重点取組」をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の4つに分類し実施する。

(1) 基本研修

① 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校の組織力向上を目的とした職階に応じた研修を実施する。特に、管理職の大量退職に伴う新任管理職に向けた研修(新任教頭研修)を充実させる。

② 職務に応じた研修

本市の喫緊の課題である学校の中核となる教員の育成をねらいとした、学校運営、研究推進、生徒指導、学力向上、危機管理といった多様な資質の向上を図る研修をはじめとする職務に応じた研修を実施する。また、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善の推進をねらいとした研修を実施する。

③ 教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では、中核市である利点を生かし授業力の育成を重点化した内容の充実を図る。また、2年目、3年目も、初任者研修を継続しグループでの授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

④ 研修の充実と精選

新しい学習指導要領の内容に伴う研修を充実させ、内容や方法を拡充する。また、令和2年度から4年目研修で実施していた異校園種交流研修を2年次研修に完全移行する。

(2) 専門研修

① 教育課題等への対応研修

人権教育、インクルーシブ教育、食育、いじめ防止、不登校、特別支援教育、プログラミング教育、情報モラル、校務支援システムの活用等、専門性を高める研修や新しい教育課題の対応に資する研修を実施する。

② 教科等の指導力向上を目指した研修

児童等の学びに向かう力や人間性等の育成、学力向上等を目指し、各教科等における主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。マイスター教員を含む新たな指導教員制度による、指導教員を講師として研修等、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画として当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある時宜にかなった研修を随時実施する。また、指導員・指導主事を対象にした研修の実施を検討する。

3 具体的な取組

<教職員の資質向上>

教職員の資質向上を目指し、3つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・校長や教頭などの職務、職階に対応した研修
- ・子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援や特別支援教育など）
- ・養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの職責を遂行するための研修
- ・人権問題について学ぶための研修

確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師

- ・授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・教科の指導力向上をめざした研修の充実
- ・若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の交流や連携を図る研修

総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教師

- ・学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修
- ・小学校、中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小中連携を図る研修の充実
- ・地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実

<中核市として主体的に研修の充実を図る>

中核市として、国や県の動向をみながら尼崎市にふさわしい研修を実施する。

(1) 初任者研修（法定研修）の充実

- ・授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付ける。
- ・初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の知里・歴史・文化等について学ぶ。
- ・1年目に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

(2) 中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より専門性と実践力を高めるとともに、尼崎の課題や将来について考える広い視点を持った中堅教員を育成する。

<学校・園のニーズに応える>

研修に参加した教職員へのアンケートの実施、児童生徒文化充実支援事業や教科研究会との連携、他府県や他市からの情報をもとに、研修に対するニーズを考慮したうえで、研修事業に生かしていく。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターが企画する研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営する研修等がある。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。

さまざまな研修の延長線上に、教員自身が進んで学び続ける「自主研修」の学びの根っこや栄養分があるといえる。



<教育総合センターの研修と校・園内研修の連携>

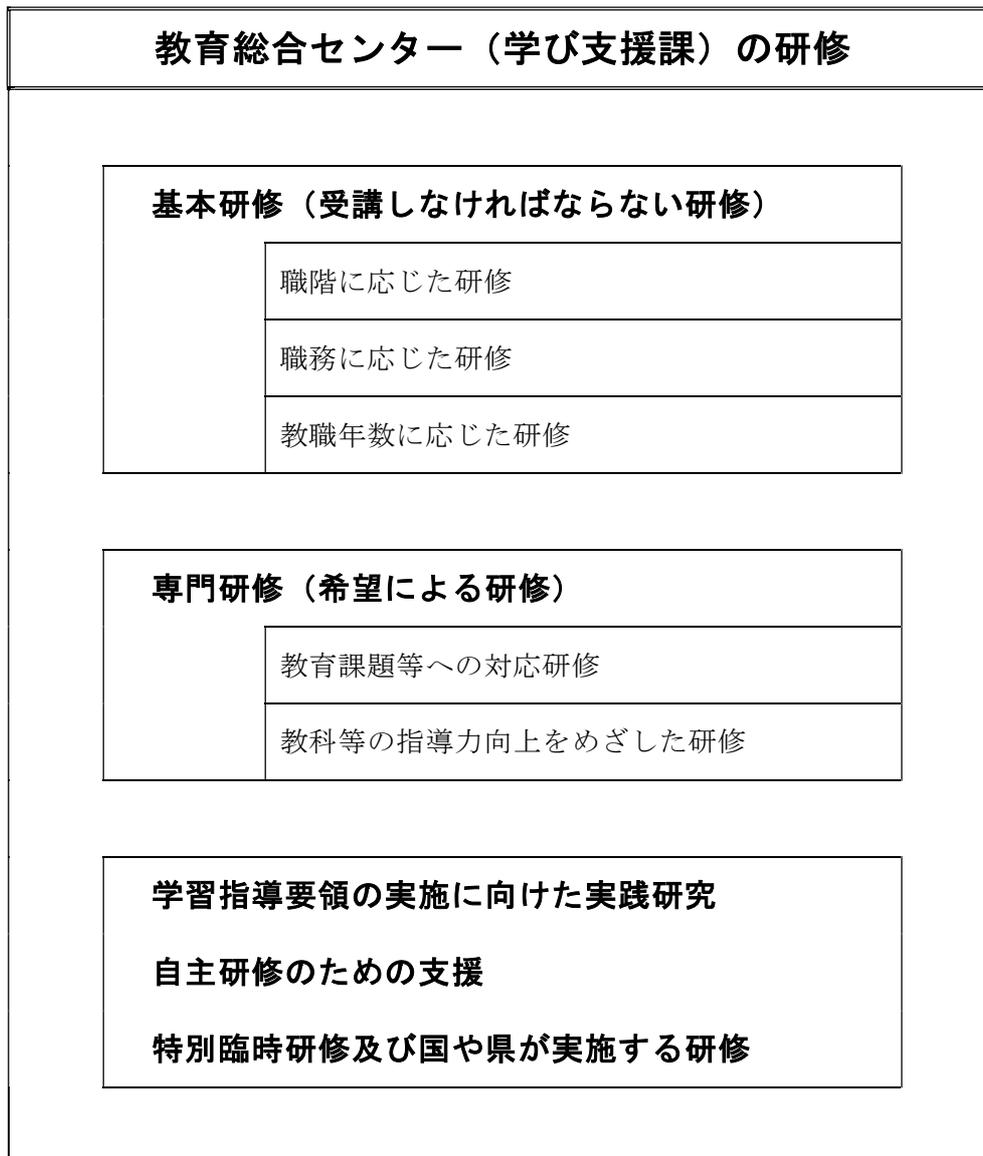
- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。このほか、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、公開授業研究発表会や研究紀要によって広く公開し、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- (4) わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの出前研修を校内研修において実施していく。
- (5) 先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

<教育総合センターの研修と自主研修の連携>

- (1) 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援の充実を図る。
- (2) 教育総合センターの教育情報コーナーにおいて、最新の書籍を含む情報や、これまでに公開された授業の学習指導案を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。なお、AMA-NE Tのホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築した。

5 研修体系図 (略図)

(別添参照)



6 研修一覧表

※研修内容は予定です。

種類	中分類	令和2年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種				
			責任感・熱意	授業力	専門性	対応力							
職に 階に 応 修	職に 階に 応 修	校長研修	○			○	危機管理事例研修	校長	小・中・高・特				
		園長研修	○			○	園経営課題研修	園長	幼				
		新任校・園長研修	○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種				
		教頭研修	○			○	学校経営課題(教員の育成 OJT) 幼稚園教諭対象	教頭	全校種				
		新任教頭研修	○			○	実務に関する対応研修(シリーズ)	新任教頭	小・中・高・特				
		新任管理職コンピュータ研修				○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種				
	職に 階に 応 修	職に 階に 応 修	教務担当者研修	○			○	地域に開かれた教育課程	各校より専任	小・中・特			
			研究担当者研修	○	○	○		カリキュラムマネジメント					
			生徒指導担当者研修	○			○	いじめ予防研修					
			就学前教育研修				○	○	就学前教育について【理論編】	就学前教育に携わる幼稚園、保育園・保育所教員、及び小学校教員	幼・保・小		
				第1回			○	○	就学前教育について【実践編】				
			養護教諭研修					○	養護教諭の職務等に関する研修	養護教諭	全校種		
			栄養教諭 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる					○	栄養教諭の職務等に関する研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種		
			外国語研修講座			○	○		外国語活動にかかる授業づくり	担当教員	小		
特別支援教育コーディネーター研修						○	○	特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)	特別支援教育コーディネーター	全校種			
学校事務職員研修							○	財務会計システムの運用	学校事務職員	全校種			
教育用コンピュータシステム管理担当研修					○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特					
受講 し な け ら ば な ら な い 研 修 (基 本 研 修)	教 職 年 数 に 応 じ た 研 修	1 年 目 教 員 必 修 研 修	第1回	○			○	尼崎の教育、接遇について、ICT	1年目教員	小・中・特			
			第2回	○				○			救命救急法、指導案作成の基礎、教科指導、学級経営		
			第3回	○							○	校務支援、情報モラル、学級集団作り	
			第4回			○	○					授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観	
			第5回	○				○			○	学習指導案作成の基礎、情報モラル教育	
			第6回					○				授業実践研修	
			第7回	○				○				教科指導におけるICTの活用、特別活動、教科の指導	
			第8回			○						生徒指導、社会体験研修報告会、授業実践研修	
			第9回					○				カウンセリングマインドに基づいた教育相談、体験研修	
			第10回					○			○	教科の指導、授業実践研修	
			第11回								○	授業実践研修、指導案検討・授業参観のポイント	
			第12回	○				○				尼崎の地域、尼崎の人権教育	
			第13回	○				○				学習評価、外国語科の指導	
			第14回	○				○				他業種に学ぶ、1年目教員研修の成果と課題	
2 年 次 教 員 研 修	2 年 次 教 員 研 修	2 年 次 教 員 研 修	共通研修・グループ				○	○	○	研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①、ストレスマネジメント	2年目教員	全校種	
			グループ				○						グループ授業実践研修②(指導案、レポート等をもとに実践交流)
			グループ				○						グループ公開授業研修(代表者による公開授業、事後研究会)
			選択研修				○						学び支援課が指定した研修から2講座を受講
			選択研修				○						
3 年 次 教 員 研 修	3 年 次 教 員 研 修	3 年 次 教 員 研 修	共通研修・グループ				○	○	○	研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①、生徒指導	3年目教員	小・中・特	
			グループ				○						グループ授業実践研修②(指導案、レポート等をもとに実践交流)
			グループ				○						グループ公開授業研修(代表者による公開授業、事後研究会)
			選択研修				○						学び支援課が指定した研修から1講座を受講
5 年 次 相 当 教 員 研 修	5 年 次 相 当 教 員 研 修	5 年 次 相 当 教 員 研 修	選択研修				○	○	○	希望による研修講座から1日分(半日は2つで1日とする)選択	5年目教員	小・中・特	
			選択研修				○	○	○				
中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修	中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修	中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修	共通研修					○		尼崎の今日の課題に取り組む、著作権に関する内容	10年経験者教員 (11年目教員)	小・中・特	
			選択研修				○	○					教科に関する研修講座等から選択
1 5 年 次 相 当 教 員 研 修	1 5 年 次 相 当 教 員 研 修	1 5 年 次 相 当 教 員 研 修	選択研修				○	○	○	希望による研修講座から1回分を(研修時間が2時間であっても、1日であっても1回分とカウント)選択	15年目教員 (15年次相当教員)	小・中・特	
			選択研修				○	○	○				
管 外 転 入 教 員 研 修	管 外 転 入 教 員 研 修	管 外 転 入 教 員 研 修	○				○			本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	幼・小・中・高・特	

種類	中分類	令和2年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種	
			責任感・熱意	授業力	専門性	対応力				
希望による研修（専門研修）	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	(1)		○	○	多文化共生について考える(ヘイトスピーチ等について)	全教職員	全校種	
			(2)		○	○	これからの人権教育(LGBT)			
			(3)		○	○	これからの人権教育がめざすもの(ハンセン病の歴史から考える)			
		一般教養研修講座			○		民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種	
		学校飼育動物研修講座			○		小動物の取り扱いについての留意点	担当教員	幼・小・特	
		情報モラル・セキュリティ研修講座			○	○	モラル・セキュリティー入門	全教員	全校種	
		校務支援システム研修講座	小学校編			○		各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等	全教員	小・特
			中学校編			○				中・特
		ICT活用研修講座			○	○	ICT機器を利用した授業づくり	全教員	小・中・特	
		プログラミング教育研修講座			○	○	プログラミング教育について	全教員	小・中	
		食育研修講座 ※栄養教諭研修を兼ねる			○		子どもが育つ環境と食育について	全教職員	全校種	
		子ども理解のための研修講座	(1)		○	○	生徒指導・不登校児童生徒支援の研修(不登校、NO体罰)	全教職員	全校種	
			(2)		○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応			
		学級集団づくり研修講座 学級経営	(1)	○		○	○	学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種
		学級集団づくり研修講座 野外活動体験	(2)			○	○	野外活動に関する体験研修 (講師:美方少年自然の家から出張講師 会場:わかば西小)	全教員	全校種
	体罰防止研修	管理職			○	○	体罰防止マネジメント研修	校・園長、教頭	全校種	
		部活動			○	○	体罰防止指導方法研修	担当教員	全校種	
		教職員			○	○	体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修	担当教員	全校種	
	道徳教育研修講座			○	○	道徳授業実践研究	道徳教育推進教員	全校種		
	教科等の指導力向上を目指した研修	国語科教育研修講座	(1)		○		(小学校向け)主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について	全教員	全校種	
			(2)		○		(中学校向け)主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について			
		社会科教育研修講座			○		社会科授業で培う力	全教員	全校種	
		図書館教育研修講座			○		学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種	
		算数科教育研修講座			○		(小学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種	
		数学科教育研修講座			○		(中学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種	
		理科教育研修講座			○		実験や観察で気をつけたいこと	全教員	全校種	
		アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)	(1)			○		(生活科に関すること)生活科授業デザインの方法とその実際	全教員	全校種
						○		(造形に関すること)色・形・手触りを楽しむ		
						○		(音楽に関すること)音を楽しむ		
		幼児教育研修講座			○		幼児期の子どもをとらえた教育について	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所教員、及び小学校教員	幼・保・小	
音楽科教育研修講座				○		表現と鑑賞の指導について	全教員	全校種		
図工・美術科教育研修講座				○		評価で気をつけておきたいこと	全教員	全校種		
体育科教育研修講座		(1)			○		(小学校教員向け)	全教員	全校種	
		(2)			○		(中学校教員向け)			
外国語教育研修講座				○		(小学校教員向け)	全教員	全校種		
英語科教育研修講座				○		(中学校教員向け)	全教員	全校種		
特別活動研修講座				○		特別活動の指導のあり方	全教員	全校種		
技術科教育研修講座				○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種		
家庭科教育研修講座				○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種		
幼稚園研究会との連携研修			○		幼稚園研究会との連携研修	全教員	全校種			
会社等連携研究	小中学校教科等研究会との連携研修			○		小中学校教科等研究会との連携研修	全教員	全校種		
教育総合センター研究発表会			○			各研究部会による公開授業等の通知、研究部会委嘱式の運営	全教員	全校種		
研究部会	研究部会					課題に対応した研修(1)				
特別に実施する研修	臨時研修	特別臨時研修(指導員・指導主事研修等)					課題に対応した研修(2)			
							課題に対応した研修(3)			
							課題に対応した研修(4)			
自主的研究	研究部会			○	○	ステップアップ調査活用部会	担当教員	小・中		
						授業力向上研究部会	担当部員	小・中		
						ICT活用研究部会	担当部員	小・中		
						STEAM教育研究部会	担当部員	小・中		
						体力向上研究部会	担当部員	幼・小・中		
	学びの先進サポート事業			○	○	自主研究グループ支援	全教員	全校種		
						短期派遣研修	全教員	全校種		

7 研修計画

※研修内容は予定です。

1 受講しなければならない研修（基本研修）

(1) 職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
校長研修	第1回	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	危機管理事例研修	校長	講話
	第2回				
園長研修	未定		園経営課題研修	園長	講話
新任校・園長研修	未定	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	新任校長 新任園長	講話
教頭研修	未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（教員の育成 OJT） 幼稚園教諭対象	教頭	講話
新任教頭研修	定例教頭会終了後等	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修（シリーズ）	新任教頭	講話
新任管理職コンピュータ研修	未定	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

(2) 職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
教務担当者研修	未定	教務担当者としての職務と職責を学ぶ	地域に開かれた教育課程	教務担当者	講話 及び 演習
研究担当者研修	未定	研究担当者としての職務と職責を学ぶ	カリキュラムマネジメント	研究担当者	
生徒指導担当者研修	未定	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ予防研修	生徒指導担当者	講話
就学前教育研修	第1回	小学校就学前教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について【理論編】	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員および小学校教員	
	第2回	就学前教育の具体的な内容について理解を深め、指導力の向上を図る。	就学前教育について【実践編】		
養護教諭研修	未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の職務等に関する研修	養護教諭	講話
栄養教諭研修 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	栄養教諭の職務等に関する研修	栄養教諭 学校栄養職員	講話
外国語研修講座	未定	外国語の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	外国語活動にかかる授業づくり	外国語教育担当教員	講話
特別支援教育コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座を兼ねる	未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)	特別支援教育コーディネーター	講話
学校事務職員研修	未定	財務会計システムの使用について、共通認識をもつとともに、疑問点を解決する。	財務会計システムの運用	学校事務職員	講話
教育用コンピュータシステム管理担当研修	5/18	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	講話及び 演習
	5/20				

(3) 教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
1年目教員必修研修	第1回	4/21	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、ICT（環境・教育）、接遇	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者
	第2回	5/19		救急救命法、体験研修、学級経営	小・中学校の初任者
	第3回	5/26		校務支援（評価等）、情報モラル教育、「特別の教科 道徳」の指導	
	第4回	6/16		あまよう特別支援学校の授業参観、体験研修、教育における合理的配慮について、授業のユニバーサルデザイン化	小・中・特別支援学校の初任者
	第5回	6/30		魅力ある授業づくりについて、学習指導案作成の基礎、ティーチャーズ・トレーニング	小・中学校の初任者
	第6回	7/7			
	第7回	7/28		教科指導におけるICTの活用 教科の指導「外国語・外国語活動の指導」	小・特別支援学校の初任者
		7/29		特別活動（クラブ活動を含む）、授業実践研修②	中・特別支援学校の初任者
	第8回	9/8		生徒指導について、教科の指導、主体的・対話的で深い学び	小・中学校の初任者
	第9回	9/15		カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割、教科の指導、教科指導におけるICTの活用	
	第10回	10/6		社会体験報告会、尼崎の人権教育、授業実践研修③	
	第11回	11/10 11/17 11/24		授業実践研修	小・中・特別支援学校の初任者 (小学校の初任者は10日は対象外)
	第12回	1/26		尼崎の地域・歴史・尼崎城 他	小・中学校の初任者
	第13回	2/2		他業種に学ぶ、授業実践研修	
第14回	2/9	1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて、学習評価			

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
教職経験者（2年次）研修	5/27	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法の活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	ライフオーガナイズ 研修の概要、授業づくり グループ授業実践研修①	小・中学校の 2年目教員	講話
	6月～ 2月		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ （公開授業）		授業
			教科等の研修講座を3つ選択して受講する		講話 及び 演習
			異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）		授業
教職経験者（3年次）研修	6/15	初任者研修、教職経験者（2年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。	メンタルヘルスマネジメント 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①	小・中学校の 3年目教員	講話 及び 演習
	6月～ 2月		グループ授業実践研修② 実践交流、指導案の検討 等		授業
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会		授業
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		講話 及び 演習
5年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の5年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
中堅教諭等資質向上研修	5/13	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	共通研修 「中堅教諭としての役割」	小・中・特別支援学校の10年経験者 （11年目）	講話 及び 演習
	5月～ 2月		教科指導少人数グループ研修		
	9/2		生徒指導少人数グループ研修		
	5月～ 2月		選択研修 任意の研修を選択		
15年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
管外転入教員研修	7/9	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

2 希望による研修（専門研修）

（1）教育課題等への対応研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
人権教育研修講座	1	8/3	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	多文化共生について考える（ヘイトスピーチ等について）		
	2	8/4				これからの人権教育（LGBT）
	3	8/5				これからの人権教育がめざすもの（ハンセン病の歴史から考える）
一般教養研修講座	未定	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ			
学校飼育動物研修講座	未定	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点			
情報モラル・セキュリティ研修講座	未定		モラル・セキュリティー入門			
校務支援システム活用研修講座	小学校	夏期	校務支援システムの活用方法の基礎を習得し、効率的に業務の遂行を図る。	スズキ校務による名簿作成・日々の様子等について		
	中学校	夏期				
ICT活用研修講座	未定	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	ICT機器を利用した授業づくり			
プログラミング教育研修講座	未定	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルの習得。	プログラミング教育の考え方と基礎的なスキル	全教職員	講話及び演習	
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	成長期の食について			
子ども理解のための研修講座	1	8/5	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。	「ゲートキーパー入門講座・子どものSOSをキャッチする」		
	2	8/6	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解		
インクルーシブ教育研修講座	未定	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て			
新しい「尼崎市特別支援教育基本方針」伝達研修	未定	インクルーシブ教育システムの取組を展開するために新たに策定する「尼崎市特別支援教育基本方針」の内容について伝達し、各校へ周知する。	管理職や特別支援教育コーディネーターを対象に基本方針の趣旨を周知徹底			
学級集団づくり研修講座 学級経営	1	未定	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め、学級力の向上を図る。	学級集団づくりについて		
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2	未定	体験活動を通して、他者に対する思いやりの心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。	野外活動に関する体験研修（美方少年自然の家から出張講師）		
体罰防止研修	管理職	6/25	学校・教育現場における体罰防止等に対する意識の改革、意識の醸成等を行うための、マネジメント能力の向上を図る。	体罰防止マネジメント研修	校・園長、教頭	
		未定				
	部活動	7/10	環境等を総合的に考えて、適切に部活動を実施するための指導力向上を図る。	体罰防止指導方法研修	担当教員	
		未定				
教職員	7/3	体罰防止等に対する意識改革、意識の醸成、意欲向上を図る。	体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修	担当教員		
	未定					
道徳教育研修講座	8/31	「特別の教科 道徳」の授業づくり	道徳授業実践研修	道徳教育推進教員	全校種	

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
国語科教育研修講座	1	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について	全教職員	講話及び演習
	2		(中学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		
社会科教育研修講座	未定	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	社会科授業で培う力		
図書館教育研修講座	未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		
算数科教育研修講座	未定	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント		
数学科教育研修講座	未定	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント		
理科教育研修講座	未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で気をつけたいこと		
アプローチ・スタート カリキュラム研修講座	1	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	(生活科に関すること) 生活科授業デザインの方法とその実際		
	2		(造形に関すること) 色・形・手触りを楽しむ		
	3		(音楽に関すること) 音を楽しむ		
幼児教育研修講座	未定	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	幼児期の子どもをとらえた教育について		
音楽科教育研修講座	未定	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
図工・美術科教育研修講座	未定	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	評価で気をつけておきたいこと		
体育科教育研修講座	1	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)		
	2		(中学校教員向け)		
外国語教育研修講座	未定	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)		
英語科教育研修講座	未定		(中学校教員向け)		
特別活動研修	未定	特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動の指導のあり方		
技術科教育研修講座	未定	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
家庭科教育研修講座	未定	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
幼稚園研究会との連携研修	未定	幼児期の子ども特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	幼稚園研究会との連携研修		
小中学校教科等研究会との連携研修	7月～2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	小中学校教科等研究会との連携研修		
教育総合センター研究発表会	未定	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究会による公開授業等の通知、研究会委嘱式の運営		

3 研究部会

研修・講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考
ステップ・アップ調査活用部会	通年	「あまっ子ステップ・アップ調査」の結果を分析し、自校の学力向上の取組を検証するとともに、改善の方向を考える。	・ベネッセからの報告をもとに自校の調査結果を分析する。 ・部会員同士が実践事例を意見交換し、自校での対応方法を検討する。	小・中学校 各校より選任	講話及び 演習
I C T活用研究部会	通年	1人1台端末のもとで“個別最適化され、創造性をはぐくむ教育”の実現を目指す研究を行う。	・大学教授等による講話と実践例を学ぶ。 ・「授業支援ソフト」を活用した授業を公開し、1人1台端末の授業について意見交換する。	小・中学校 より選任	講話及び 演習
S T E A M教育研究部会	通年	新たに必修化される「プログラミング教育」を視野に入れつつ、教科横断的に情報活用能力を育てるためにSTEAM教育の視点から探求的な学習のあり方の研究を行う。	各校種で必修化される「プログラミング教育」を系統的に把握し、実践検証する。	小・中・高等学校 より選任	講話及び 演習
授業力向上研究部会	通年	「授業改善の視点」の改訂等を通して、内容を精査・一般化し、アクティブ・ラーニングの視点に立つ授業研究をさらに進める。	「授業改善の視点」に基づいたモデル授業の公開と、「授業改善の視点」の改訂	小・中学校 より選任	講話及び 演習
体力向上研究部会	通年	保育園・幼稚園・小学校・中学校が、体力向上に向け継続的に運動することの効果についての研究を行う。	・リズムジャンプトレーニングを取り入れた授業づくり ・幼小中への継続的な取組を、モデル地区で行う。	幼・小・中学校 より選任	講話及び 演習

8 研修担当分担表

種別	中分類	令和2年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者								
				福山	森井	小林	後藤	瀧本	小谷	藤井 (甲斐)		
職に 階に 応 じ た 研 修		校長研修	第1回 危機管理マネジメント研修	○								
			第2回 危機管理事例研修	○								
		園長研修	園経営課題研修	○								
		新任校・園長研修	校・園長の職務	○								
		教頭研修	学校経営課題（教員の育成 OJT） 幼稚園教諭対象	○								
		新任教頭研修	実務に関する対応研修（シリーズ）		○	○						
		新任管理職コンピュータ研修	ネットワークを利用した校務処理					○				
職 務 に 応 じ た 研 修		教務担当者研修	地域に開かれた教育課程	○								
		研究担当者研修	カリキュラムマネジメント	○								
		生徒指導担当者研修	いじめ予防研修		○							
		就学前教育研修	第1回 就学前教育について【理論編】					○				
			第2回 就学前教育について【実践編】					○				
		養護教諭研修	養護教諭の職務等に関する研修		○							
		栄養教諭 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ね	栄養教諭の職務等に関する研修					○				
		外国語研修講座	外国語活動にかかる授業づくり		○							
		特別支援教育コーディネーター研修	特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)			○						
		学校事務職員研修	財務会計システムの運用					○				
教育用コンピュータシステム管理担当研修	教育用コンピュータシステムの管理と運用					○						
受 講 し な け れ ば な ら な い 研 修 (基 本 研 修)	教 職 年 数 に 応 じ た 研 修	1 年 目 教 員 必 修 研 修	第1回 尼崎の教育、ICT（環境・教育）、接遇									
			第2回 救命救急法、体験研修、学校経営									
			第3回 校務支援（評価等）、「特別の教科 道徳」の指導、情報モラル教育						○			
			第4回 あまよう特別支援学校の授業参観、体験研修、教育における合理的配慮について、授業のユニバーサルデザイン化									
			第5回 魅力ある授業づくりについて、学習指導案作成の基礎、ティーチャーズ・トレーニング									
			第6回 学校事故・アレルギー疾患への対応、授業実践研修①									
			第7回 教科指導におけるICTの活用、特別活動、教科の指導、授業実践研修②		○	○						
			第8回 生徒指導について、教科の指導、主体的・対話的で深い学び									
			第9回 カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割、教科の指導、教科指導におけるICTの活用							○		
			第10回 社会体験報告会、尼崎の人権教育、授業実践研修③									
			第11回 授業実践研修									
			第12回 尼崎の地域・歴史・尼崎他									
			第13回 他業種に学ぶ、授業実践研修									
			第14回 1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて、学習評価									
2 年 次 教 員 研 修		共通研修・グループ	ライフオーガナイズ、研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①									
		グループ	グループ授業実践研修②（指導案、レポート等をもとに実践交流）									
		グループ	グループ授業実践研修③（代表者による公開授業、事後研究会）									
		選択研修		○	○	○						
		選択研修	教科等の研修講座から3つ選択して受講する									
		選択研修										
3 年 次 教 員 研 修		共通研修・グループ	研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①、生徒指導									
		グループ	グループ授業実践研修②（指導案、レポート等をもとに実践交流）	○	○	○						
		グループ	グループ公開授業研修（代表者による公開授業、事後研究会）									
		選択研修	学び支援課が指定した研修から1講座を受講									
中 学 校 2 ・ 3 年 次 教 員 研 修	グループ	グループ公開授業研修（代表者による公開授業、事後研究会）			○							
5 年 次 相 当 教 員 研 修		選択研修						○				
		選択研修	希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択									
中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修		共通研修	尼崎の今日的課題に取り組む、著作権に関する内容	○								
		選択研修	教科に関する研修講座等から選択									
1 5 年 次 相 当 教 員 研 修		選択研修	希望による研修講座から1回分を（研修時間が2時間であっても、1日であっても1回分とカウント）選択					○				
		選択研修										
管 外 転 入 教 員 研 修			本市の教育課題とこれまでの取り組み			○						

9 文部科学省・県教委等の実施する研修一覧

主催	研修名・講座名	対象
・文部科学省 ・独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
	英語教育推進リーダー中央研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員
	通級指導教室担当教員等研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
	リーダー研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
	インクルーシブ教育システム構築研修	特別支援学校教員，幼・小・中・高等学校の特別支援教育担当教員（市・学校等からの推薦により受講）
	発達障害教育研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
	サポート研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	令和2（2020）年度採用高等学校教員
	高校教員2年次研修講座	令和元年（2019）年度採用高等学校教員
	高校教員3年次研修講座	平成30（2018）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成22（2010）年度採用高等学校教員
	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	全校園種教員
	自由研修	令和2（2020）年度採用
	学校経営研修講座	小・中・特別支援学校校長
県教育委員会	学校管理職・教育行政職特別研修	令和2（2020）年度採用 小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	令和2（2020）年度採用高等学校校長
	幼稚園等新規採用教員研修	令和2（2020）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	平成22（2010）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用10年次）	平成23年（2011）年度採用 小・中・特別支援学校の10年目養護教諭・栄養教諭
	市町立学校主幹教諭研修会	令和2（2020）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び 任用候補者研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	大学と連携した英語指導力向上事業	小・中・高等学校（県費）教員

10 令和元年度 研修報告

本年度は、令和元年度学校教育に関する重点取組をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の4つに分類し、実施した。
 ※ 令和元年度学校教育に関する重点取組 ①教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む ②心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ③家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む ④安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

1 受講しなければならない研修(基本研修)

(1) 職階に応じた研修(職階別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
校長研修	8	9	金	講話	学校での事前予防～自殺予防教育の考え方～	立命館大学 教授	川野 健治	43	
園長研修	1	8	水	講話	新たな視点で育とう・育てよう	元小学校長	上玉利 敏昭	9	
新任校・園長研修	9	24	火	講話	新任校・園長に望むこと	尼崎市教育委員会 教育長	松本 眞	14	
教頭研修	11	29	金	講話	広がる教育的ニーズと「チーム学校」～「教育機会確保法」をめぐって～	園田学園女子大学 准教授	大野木 位行	52	
新任小中学校教頭研修	(1)	4	24	水	講話	教頭の実務について ネットワークを活用した校務処理	教育総合センター 所長 学び支援課 指導主事 指導主事	平山 直樹 森井 崇 藤井 俊史	24
	(2)小	6	13	木	講話	学籍事務について 就学援助について	学務課 係長 書記	梅田 敦子 日野 遼太	15
	(2)中	6	17	月	講話	学籍事務について 就学援助について	学務課 係長 書記	梅田 敦子 日野 遼太	7
	(3)中	7	10	水	講話	児童生徒数及び学級数見込みに関する調査について 就学調査について	特別支援教育担当 係長	菊谷 徳洋	7
	(3)小	7	11	木	講話	児童生徒数及び学級数見込みに関する調査について 就学調査について	特別支援教育担当 係長	菊谷 徳洋	15
	(4)中	9	11	水	講話	ポジティブ行動支援を取り入れた集団づくり 教員の同僚性を高めるために	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 指導主事	守屋 貴哉 廣田 誠	7
	(4)小	9	12	木	講話	ポジティブ行動支援を取り入れた集団づくり 教員の同僚性を高めるために	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 指導主事	守屋 貴哉 廣田 誠	15
	(5)小	10	8	火	講話	学校給食に係る食物アレルギーや異物混入対応	学校保健課 指導主事 技師	高原 有子 幸恵	12
(5)中	10	9	水	講話	伝染病等への対応と連絡について	学校保健課 指導主事	高原 有子	7	
新任管理職コンピュータ研修	4	24	水	講話 演習	ネットワークを利用した校務処理	学び支援課 指導主事 指導主事	藤井 俊史 森井 崇	27	

(2) 職務に応じた研修(職務別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
教務担当者研修	7	25	木	講話	学校と地域がウィン・ウィンの関係で子どもたちを健やかに育もう	岡山県井原市立大江小学校 元校長	藤井 美江	41	
生徒指導担当者研修	5	14	火	講話	スマホ時代の子どものために	兵庫県立大学 准教授	竹内 和雄	62	
危機管理事例研修	5	23	木	講話	自殺の危機の高い児童生徒への組織的対応の考え方と実際～自殺の危機介入における管理職の役割～	関西外国語大学 外国語学部 教授	新井 肇	61	
子ども理解・いじめ防止研修	(1)	7	22	月	講話	ゲートキーパー入門講座 ～子どものSOSをキャッチする～	NPO法人 ゲートキーパー支援センター 理事長	竹内 志津香	111
	(2)	7	29	月	講話	いじめ防止対策推進法と保護者対応トラブルについて	大阪大学大学院 教授	小野田 正利	70
就学前教育研修	(1)	8	28	水	講話 演習	みんなげんき 体操とうたあそび	みんなげんきジム 代表	米田 和正	40
	(2)	12	10	火	講話	保育者の専門性と重要性	神戸大学大学院 准教授	北野 幸子	84
養護教諭研修	1	16	木	講話	学校におけるアレルギー疾患の児童生徒への対応	笠井医院 副院長	笠井 和子	73	
栄養教諭研修	8	5	月	講話	成長期のための強い身体作り ～ジュニアアスリート向け～	Sports Diet 代表	岡田 あき子	39	
道徳教育推進教師研修	(1)	5	10	金	講話 演習	「特別の教科 道徳」における授業づくりと評価～主体的、対話的で深い学びを目指して～	四天王寺大学 教授	杉中 康平	60
	(2)	9	13	金	講話 演習	「教科」時代の道徳授業を創る	四天王寺大学 教授	杉中 康平	59
外国語活動研修	8	1	木	講話 演習	We can teach English! 外国語授業の楽しさについて	園田東小学校 教諭	手嶋 浩之	30	
管外転入教員研修	6	27	木	講話	本市教員に望むこと	教育総合センター 所長	平山 直樹	19	
プログラミング教育実践研修	(1)	8	2	金	講話 演習	・プログラミング教育における見識を深め、授業実践力を高める ・プログラミング教材(ビスケットやスクラッチ)を使った小学校における授業づくり	NPO法人「みんなのコード」 指導者養成主任講師	福田 晴一	35
	(2)	8	20	火				35	
	(3)	2	6	木				42	
教育用コンピュータシステム管理担当研修	5	9	木	講話	尼崎市のネットワーク環境等について	学び支援課 指導主事	藤井 俊史	58	
特別支援コーディネーター研修	8	2	金	講話	インクルーシブな授業づくり	阪神特別支援学校 教諭	原田 大介	65	

(3) 次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
国語科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	6	4	火	講話 演習 「深い学びを評価する ー主体的に学習に取り組む態度の評価ー」 実践交流「自校の研究の方向性について」	桃山学院教育大学 准教授	今宮 信吾	6
	(2)	8	21	水	講話 演習 「主体的な学び手を育む国語科学習 ー単元的な学びと評価ー」 実践交流「1学期の評価について」			6
	(3)	10	1	火	講話 演習 「主体的に学習に取り組む態度を評価する」 実践交流「主体的に学習に取り組む態度の評価方法」			6
	(4)	2	25	火	講話 演習 実践発表 第5学年 「一まいの写真から」 事後研究会・指導助言			6
	(5)	3	6	金	講話 演習 実践発表 第4学年 「初雪のふる日」 事後研究会・指導助言			6
算数科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	6	3	月	講話 演習 「算数科で創る主体的・対話的で深い学び」 個人テーマ設定に向けての検討	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	5
	(2)	7	30	火	講話 演習 「算数科で創る主体的・対話的で深い学び」 個人テーマ交流・2学期の授業プランの交流			5
	(3)	8	9	金	講話 演習 授業映像を使った研究協議 模擬授業 授業者決定			5
	(4)	8	9	金	講話 演習			5
	(5)	10	24	木	授業参観 講話 公開授業 第5学年「分数のたし算とひき算」 研究協議・指導助言	学び支援課 指導主事	森井 崇	4
	(6)	12	12	木	授業参観 講話 公開授業 第6学年「順序よく整理して調べよう」 研究協議・指導助言			4
	(7)	12	17	火	授業参観 講話 公開授業 第2学年「九九をつくろう」 研究協議・指導助言			4
	(8)	1	24	金	授業参観 講話 公開授業 第5学年「比べ方を考えよう」 研究協議・指導助言			4
	(9)	2	10	月	授業参観 講話 専任講師による公開授業 第4学年「変わり方」 講話・演習「子どもが動き出す授業に必要な条件」			関西大学初等部 教諭
道徳教育 研究部会	(1)	6	20	木	講話 演習 指導助言・演習 「道徳科で創る主体的・対話的で深い学び」	四天王寺大学 教授	杉中 康平	6
	(2)	7	4	木	講話 演習 研究テーマの設定 具体的取り組み計画の作成及び共有 教材・発問の検討	学び支援課 指導主事	小林 誠一郎	6
	(3)	9	12	木	講話 演習 指導助言・演習 「道徳科で創る主体的・対話的で深い学び」 授業記録の検討			6
	(4)	9	13	金	講話 演習 授業記録の検討			四天王寺大学 教授
	(5)	10	3	木	授業参観 講話 公開授業・小学4年「いのりの手」 研究協議・指導助言	学び支援課 指導主事	小林 誠一郎	6
	(6)	12	5	木	授業参観 講話 公開授業・小学5年「みんなのニュースがかり」 研究協議・指導助言			6
	(7)	1	16	木	授業参観 講話 公開授業・中学2年「命を見つめて ー猿渡さんさんの六百四十六日ー」 研究協議・指導助言			6
	(8)	1	23	木	授業参観 講話 公開授業 小学3年「絵はがきと切手」 研究協議・指導助言			四天王寺大学 教授
	(9)	2	6	木	授業参観 講話 公開授業 小学1年「くりのみ」 研究協議・指導助言	学び支援課 指導主事	小林 誠一郎	6
	(10)	2	13	木	授業参観 講話 公開授業・中学1年「いつわりのバイオリン」 研究協議・指導助言			6
中学校情報教育 研究部会	(1)	6	25	火	講話 演習 研究テーマ・方向性の決定・共有 実践単元計画の作成	大阪教育大学大学院 准教授	寺嶋 浩介	5
	(2)	7	25	木	講話 演習 I C T機器の操作研修	学び支援課 指導主事	藤井 俊史	5
	(3)	8	9	金	講話 演習 指導案検討	大阪教育大学大学院 准教授	寺嶋 浩介	5
	(4)	9	30	月	講話 演習 指導案検討	大阪教育大学大学院 准教授 鳴門教育大学大学院 准教授	寺嶋 浩介 泰山 裕	5
	(5)	12	2	月	授業参観 講話 公開授業 理科「星の1日の動き」 事後研究協議会	大阪教育大学大学院 准教授	寺嶋 浩介	5
	(6)	12	12	木	授業参観 講話 公開授業 英語「Reading2 Red demon and Blue demon」 事後研究協議会	鳴門教育大学大学院 准教授	泰山 裕	5
	(7)	1	31	金	講話 演習 本年度のまとめと成果報告	大阪教育大学大学院 准教授	寺嶋 浩介	5

(4) 経験年数に応じた研修 (経験年数別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数		
	月	日	曜							
1年目教員必修研修	第1回	4	23	火	講話 教職員としての心構え・服務 尼崎市の教育、尼崎市のICT環境 教職員としての接遇	H Y教育エンタープライズ 代表 学び支援課 課長 指導主事 指導主事	橋場 由見子 太田 善久 藤井 俊史 森井 崇	56		
	第2回	5	21	火	講話 演習 特別の教科 道徳の授業づくりについて 学級経営について	四天王寺大学 教授 尼崎市教育委員	杉中 康平 仲島 正教	48		
	第3回小	5	28	火	講話 演習 学級集団の基礎と学習集団づくり 校務支援 (評価等)	学び支援課 指導主事 指導主事	松本 隆範 森井 崇	38		
	第3回中	5	28	火	講話 演習 教科の指導① 学習指導の基本 教科の指導の課題とその改善に向けて	学び支援課 指導主事	小林 誠一郎	12		
	第4回	6	11	火	講話 演習 尼崎養護学校での授業参観・体験研修 あまよう特別支援学校の教育について インクルーシブ教育について 特別支援教育について	尼崎養護学校 校長 教諭 特別支援担当 指導主事	小寺 英樹 上村 美里 竹中 和子 神保 玲子	25		
		6	18	火				27		
	第5回小	7	2	火	講話 演習 生徒指導について 情報モラル、教科指導におけるICTの活用	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 学び支援課 指導主事	守屋 貴成 藤井 俊史	38		
	第5回中	7	2	火	講話 演習 生徒指導について 情報モラル、校務ソフトの活用	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 学び支援課 指導主事	廣田 誠 森井 崇	12		
	第6回	7	9	火	講話 演習 学校事故およびアレルギー疾患への対応 思考力・表現力を育む授業づくり	学校保健課 指導主事 技手 七松小学校 教諭	高原 有子 中野 幸恵 中野 穰	49		
	第7回小	7	30	火	講話 算数科の指導 外国語の指導	関西大学初等部 教諭 園田東小学校 教諭	尾崎 正彦 手嶋 浩之	38		
	第7回中	7	31	水	講話 演習 特別活動(クラブ活動を含む) 学級通信について	園田中学校 前校長	藤山 亨	13		
	第8回小	9	3	火	講話 演習 尼崎の歴史 社会体験研修報告会 「体育科の指導」	歴博・文化財担当 課長 園田南小学校 教諭	櫻野 一裕 田本 裕之	38		
	第8回中	9	3	火	講話 演習 尼崎の歴史 社会体験研修報告会 「主体的・協同的な学び」	歴博・文化財担当 課長 大阪教育大学大学院 准教授	櫻野 一裕 寺嶋 浩介	12		
	第9回	9	10	火	講話 演習 救命救急法 教科等の指導におけるICTの活用	尼崎市北消防署 園田分署 学び支援課 指導主事	職員 森井 崇	27		
		9	17	火				講話 演習 救命救急法 教科等の指導におけるICTの活用	尼崎市北消防署 園田分署 学び支援課 指導主事	職員 藤井 俊史
	第10回小	10	1	火	講話 演習 人権教育 国語科の指導	学校教育課 指導主事 桃山学院教育大学 准教授	堀 祐輔 今宮 信吾	36		
	第10回中	10	1	火	講話 演習 人権教育について 特別の教科道徳の学習指導について	学校教育課 指導主事 中央中学校 教諭	堀 祐輔 富田 学	12		
	第11回小	11	19	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 (成徳小学校第2学年)	立花北小学校 教諭	川北 夏摘	19		
		11	26	火				講話 授業参観 授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 (立花西小学校第4学年)	潮小学校 教諭	重松 裕之
	第11回中	11	12	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 公開授業 事後研究	武庫中学校 教諭 教育総合センター 授業改善アドバイザー	長谷川 達明 尾崎 一郎	4		
		11	19	火				武庫東中学校 教諭 明城中学校 教諭 教育総合センター 授業改善アドバイザー	石井 郁樹 土高 伸也 木村 啓子	5
		11	26	火						中央中学校 教諭 南武庫之荘中学校 教諭 学び支援課 指導主事
	第12回小	1	21	火	講話 授業参観 教育相談 図画工作科公開授業及び講話	こども教育支援課 係長 上坂部小学校 教諭	碓 裕樹 河野 倫平	38		
	第12回中	1	21	火	講話 教育相談 シナジーシップ向上プログラムA T T F IIについて 教科の指導	こども教育支援課 係長 生涯・学習!推進課 係長 学び支援課 指導主事	碓 裕樹 山添 杏子 小林 誠一郎	12		
第13回	1	28	火	講話 演習 他業種に学ぶ 授業実践交流	Coetote 代表 学び支援課 指導主事	牧野 篤史 小林 誠一郎	48			
第14回	2	4	火	講話 演習 1年目教員必修研修の成果と課題 2年次に向けて 学習者理解・学習指導のための教育評価	大阪教育大学大学院 准教授 学び支援課 指導主事 指導主事	寺嶋 浩介 小林 誠一郎 松本 隆範	49			

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
2年次教員研修	第1回 小中特	5	29	水	講話	ライフオーガナイズについて グループ授業実践研修	ライフオーガナイザー 学び支援課 指導主事	前川 祐子 小林 誠一郎 他	51
	第2回 中	7	31	水	講話 演習	授業力の向上を図るために 教科グループ授業実践研修	学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー	小林 誠一郎 他 尾崎 一郎 他	17
	第2回 小	通年 各日			演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	学び支援課 指導主事	松本 隆範 他	34
	第3回 小	通年 各日			授業参観 講話	授業力向上研修 公開授業と事後研修	学び支援課 指導主事	松本 隆範 他	34
	第3回 中	11 11 12	12 19 26	火	授業参観 講話	教科グループ公開授業研修 公開授業と事後研修	尼崎市立園田中学校 教諭 尼崎市立南武庫之荘中学校 教諭 尼崎市立成良中学校 教諭 尼崎市立大庄中学校 教諭 尼崎市立園田東中学校 教諭 学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	竹内 香保里 増山 涼太 小崎 典子 森沢 貴文 夏井 佑樹 藤井 俊史 木村 啓子 尾崎 一郎	17
	第4回 小中	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		51
3年次教員研修	第1回 小中	6	17	月	講話 演習	メンタルヘルスマネジメント グループ授業実践研修	学び支援課 指導主事	松本 隆範	67
	第2回 中	7	31	水	講話 演習	授業力の向上を図るために 教科グループ授業実践研修	学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー	松本 隆範 他 尾崎 一郎 他	17
	第2回 小	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	学び支援課 指導主事	松本 隆範 他	51
	第3回 中	11 11 12	12 19 26	火	授業参観 講話	教科グループ公開授業研修 公開授業と事後研修	尼崎市立園田中学校 教諭 尼崎市立南武庫之荘中学校 教諭 尼崎市立成良中学校 教諭 尼崎市立大庄中学校 教諭 尼崎市立園田東中学校 教諭 学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	竹内 香保里 増山 涼太 小崎 典子 森沢 貴文 夏井 佑樹 藤井 俊史 木村 啓子 尾崎 一郎	17
	第3回 小	通年 各日			講話 授業参観	授業力向上研修 公開授業と事後研修	学び支援課 指導主事	松本 隆範 他	51
4年目教員研修	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		73	
5年次相当教員研修	通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		74	
中堅教諭等資質向上研修	5	15	水	講話	学校において中堅教諭に求められるもの	学び支援課 課長 常陽中学校 元校長	太田 善久 小谷 豪郎	65	
	9	4	水	演習	生徒指導事例の交流	いじめ防止生徒指導担当 係長 指導主事 指導主事 指導主事 学び支援課 指導主事	田邊 亘 廣田 誠 野川 啓 守屋 貴哉 小林 誠一郎	67	
	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	学び支援課 課長	太田 善久 他	67	
15年次相当教員研修	通年			講話	ミドルリーダーとしての資質向上 (今日的な教育課題等)	各自研修に参加		77	

2 希望による研修（専門研修）
 (1) 教育課題等への対応研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
人権教育研修講座	1-(1)	7	26	金	講話	教育機会確保法と不登校対策	園田学園女子大学 教授 浅野神経内科クリニック 医師	近森 栄子 植本 雅治	133
	1-(2)	8	2	金	講話	教育機会確保法と不登校対策	園田学園女子大学 教授 浅野神経内科クリニック 医師	近森 栄子 植本 雅治	53
	1-(3)	8	22	木	講話	教育機会確保法と学校 へ不登校について見つめなおす機会を～	園田学園女子大学 准教授	大野木 位行	148
	(2)	8	19	月	講話	外国人児童生徒等を取り巻く環境と校内の支援体制について	大阪教育大学 准教授	白井 智美	40
	(3)	8	22	木	講話	あなたの身近にもいるLGBT ～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～	フリーランス	井上 鈴佳	72
食育研修講座	8	5	月	講話	成長期のための強い身体作り ～ジュニアアスリート向け～	Sports Diet 代表	岡田 あき子	39	
子ども理解のための 研修講座	(1)	7	22	月	講話	ゲートキーパー入門講座 ～子どものSOSをキャッチする～	NPO法人 ゲートキーパー支援センター 理事長	竹内 志津香	111
	(2)	7	29	月	講話	いじめ防止対策推進法と保護者対応トラブルについて	大阪大学大学院 教授	小野田 正利	70
一般教養研修講座	8	6	火	講話	「生きる力」を育む、お金のはなし ～キャッシュレス模擬授業～	キャサリンとナンシーのお金のはなし ファイナンシャル・プランナー ファイナンシャル・プランナー	竹内 かおり 西岡 奈美	38	
学校飼育動物研修講座	6	28	金	講話 演習	学校飼育動物飼育方講習会	学校飼育動物委員会 委員長 副委員長 委員	村上 義久 石川 知也 杉山 雄輝	10	
情報モラル・セキュリティ 研修講座	8	5	月	講話	SNS ノートを活用したモラル教育	LINE株式会社 インストラクター	鳥羽 浩子	40	
プログラミング 教育研修講座	(1)	8	6	火	講話 演習	小学校での算数「多角形」、理科「電気の利用」に 使える授業づくりについて	園田学園女子大学 教授 園田小学校 教諭	堀田 博史 林 孝茂	42
	(2)	8	6	火	講話 演習	プログラミング教材（ビスケットやスクラッチ）を 使った小学校における授業づくりについて	園田学園女子大学 教授 園田小学校 教諭	堀田 博史 林 孝茂	34
中学校ICT活用 研修講座	7	23	火	講話 演習	コンピュータ室の機器等を活用した授業について	学び支援課 指導主事	藤井 俊史	24	
校務支援システム 研修講座 (小学校)	7	31	水	講話 演習	スズキ校務ソフトによる名簿作成、成績処理、通知表 入力、要録入力について	学び支援課 指導主事	森井 崇	9	
校務支援システム 活用研修講座 (中学校)	7	30	火	講話 演習	スズキ校務による成績処理・面談資料作成等について	学び支援課 指導主事	藤井 俊史	8	
学級集団づくり研修講座 学級経営	6	6	木	講話 演習	学級経営に特別支援教育の知見をいかす～笑育～	関西国際大学 教授	百瀬 和夫	74	
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	8	1	木	講話 演習	野外活動に関する体験研修	尼崎市立美方高原自然の家 職員	久下 慎太郎	9	
教務担当者教育研修講座	7	25	木	講話	学校と地域がウィン・ウィンの関係で子どもたちを健 やかに育もう	岡山県井原市立大江小学校 元校長	藤井 美江	38	
アセス研修	1	20	月	講話 演習	学校適応尺度（アセス）の使い方・生かし方	広島大学大学院教育学研究科附属教育実 践総合センター 教授	栗原 慎二	39	

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修(授業力向上研修講座)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
アプローチスタート カリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の 接続期教育研修講座)	2	20	木	授業参観 講話 演習	表現・図画工作科における幼保小連携・接続	上坂部小学校 教諭	河野 倫平	9	
国語科教育研修講座	(1)	7	25	木	演習	絵手紙の指導	絵手紙作家	小林 和子	21
	(2)	8	27	火	講話	物語文の授業づくり ～物語作品・二瓶弘行の「教材研究の観点」2019～	桃山学院教育大学 教授	二瓶 弘行	155
	(3)	10	31	木	授業参観	点画のつながりを考えて書こう「飛ぶ」	神戸女子短期大学 教授	山内 有香子	33
図書館教育研修講座	2	6	木	講話	各教科の授業で学校図書館を利用する方法を考える	大阪教育大学 教授	木原 俊行	30	
社会科教育研修講座	8	5	月	講話	主体性を引き出す発問の工夫 ～社会の授業でアクティブラーニングを実現するために～	関西学院大学 非常勤講師	倉橋 忠	45	
算数科教育研修講座	8	5	月	講話	子どもの声で創る算数授業 ～数学的な見方・考え方の育成を中心として～	神戸大学付属小学校 教諭	東 尚平	69	
数学科教育研修講座	8	1	木	講話	新学習指導要領における評価のあり方考える	姫路大学 准教授	榎並 雅之	13	
理科教育研修講座	11	7	木	講話	理科の見方・考え方を促す授業づくり	兵庫教育大学付属小学校 教諭	西澤 宏一	11	
音楽科教育研修講座	8	23	金	講話	鑑賞の指導について	名古屋学院大学 准教授	江田 司	45	
図工・美術科教育研修講座	7	26	金	演習 講話	図画工作で育てたい力について	京都ノートルダム女子大学 准教授	藤本 陽三	38	
体育科教育研修講座	(1)	7	23	火	演習	フラッグフットボールの指導法	神戸大学ESD総合コーディネーター	鴨谷 真	26
	(2)	7	24	水	演習	リズムジャンプの指導法	美作大学 准教授	津田 幸保	30
技術科教育研修講座	7	24	水	講話 演習	愛されるコテラトマトをめざして	兵庫県青年農業者 小寺農園	小寺 清隆	18	
家庭科教育研修講座	8	5	月	講話	成長期のための強い身体作り ～ジュニアアスリート向け～	Sports Diet 代表	岡田 あき子	39	
大学と連携した英語指導力向上 研修講座	1	27	月	授業参観 講話	これからの小学校外国語教育の指導の在り方	鳴門教育大学 准教授	佐藤 美智子	98	
外国語活動・英語科教育 研修講座	8	1	木	講話	外国教育における小中連携・接続	桃山学院大学 准教授	Warren Decker	31	
特別活動研修講座	7	26	金	講話	教室でできる！楽しい学級活動	元気塾PLUS 代表	仲島 正教	31	
幼児教育研修講座					新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
マスター教員による 公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)	7	16	火	授業参観 講話 演習	土粘土を使ってみましょう	潮小学校 教諭 マスター認定教員	福田 裕美	24
	(2)	9	13	金		N I Eについて	大庄北中学校 主幹教諭 マスター認定教員	中嶋 勝	13
	(3)	10	11	金		全員が参加する社会科授業	尼崎北小学校 主幹教諭 マスター認定教員	青木 一朗	16
	(4)	10	17	木		理科の授業づくり	武庫小学校 教諭 マスター認定教員	中田 真一	20
	(5)	10	18	金		子どもを変える！魔法の音読指導	園田小学校 主幹教諭 マスター認定教員	佐藤 隆史	18
	(6)	11	20	水		伝統音楽を通して伝えたいこと	武庫東中学校 主幹教諭 マスター認定教員	坪井 美津子	14
	(7)	11	22	金		国語科の授業づくり	武庫東小学校 主幹教諭 マスター認定教員	東田 明子	21
	(8)	2	10	月		体育科の授業づくり	園田南小学校 教諭 マスター認定教員	田本 裕之	17
教育研究発表会	2	21	金	講話 参観	教育総合センター研究発表会	大阪大学大学院 教授	志水 宏吉	64	

1 1 令和元年度 研究部会の概要報告

1 ステップアップ調査活用部会

「各学校における学力向上の取り組みの充実を目指して」
－ 各学校における学力向上の取組の充実を目指して －

調査・研究担当 係長 瀧 本 晋 作

【内容の要約】

本部会は、市内の全小学校 41 校・中学校 17 校から推薦された教員が、昨年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」の結果を分析し、自校の学力を向上させるための取組を検証し、改善させる方法を見出すことを目的とする。

具体的には、年度の初めに「あまっ子ステップ・アップ調査」の主旨や分析方法を確認して自校の取組を計画し【P】、夏休みには1学期の取組を振り返り、研究者の知見や他校との実践交流を通して改善を図り【D】、12月と1月に今年度の調査を受検【C】、今年度の結果を踏まえて、1年間の取組を振り返って次年度につなげる【A】といった連続研修を行ってきた。このように年間を通して「PDCAサイクル」を確立する実践的な研究の場を提供することで、各学校での学力向上に向けた取組の改善を図ってきた。

2 小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）
で創る算数科の授業を目指して

専任講師 尾 崎 正 彦
(関西大学初等部 教諭)

指導主事 森 井 崇

研 究 員 瀧 崎 光 (明城小) 犬 持 卓 也 (七松小)
" 吉 田 大 (園田南小) 石 井 優 子 (園和小)
" 山 本 正 貴 (武庫小)

【内容の要約】

本研究部会は、算数科における授業改善を図り、「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）」で創る授業を構築していくために、以下のような実践に取り組んだ。

- 専任講師による継続した指導をもとに、自分の授業の問題点を自覚し、改善していくことで日々の算数授業の質的向上に役立てる。
- 全研究員の授業映像をもとに研究協議をすることで、部員それぞれの課題を明確にし、日々の授業改善につなげる。
- 全研究員による公開授業を設定する。

3 小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて — 国語科における学習評価の在り方を探る —

専任講師 今 宮 信 吾
(桃山学院教育大学 准教授)
指導主事 松 本 隆 範

研 究 員 宇 都 亨 (武庫東小) 木 口 範 彦 (大庄小)
" 佐 野 竜 也 (武庫南小) 増 田 有 希 (園和小)
" 足 立 友 美 (立花小) 中 島 響 子 (園田小)

【内容の要約】

平成28年度より、市内の各小学校から選任された教員が一堂に会し、国語科における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた研究部会を立ち上げ、授業改善を推進してきた。専任講師として桃山学院教育大学教育学部准教授 今宮 信吾 氏を招聘し、講話・演習・交流等を通して、不断の授業改善に向けて歩みを進めてきた。

今年度は、過去3カ年における研究（ループリックの設定）を踏まえ、国語科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価事例を検討し、その方法案を確定させる。

明確な証拠・根拠を必要とするエビデンスに基づいた評価を行うためにも、教師がこれまで以上に児童の実態把握や教材研究に努めることが求められる。そして、児童が目標を持って学びに向かうためには、教師の主観や児童の人間性に左右されない学習評価が不可欠である。

本研究では、アンケート調査を基にした二つの授業実践事例から、国語科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法について探り、授業改善の視点を市内全体に広めていくことを目的とした。

4 中学校情報教育研究部会

「情報活用能力」の育成を目指した、ICT 機器の効果的な 指導の在り方を探る

専任講師 寺 嶋 浩 介
(大阪教育大学大学院 准教授)

専任講師 泰 山 裕
(鳴門教育大学大学院 准教授)

指導主事 藤 井 俊 史

研 究 員 永 野 浩 隆 (中 央 中) 永 田 実 咲 (大 庄 中)

〃 森 山 多 生 (小 田 中) 西 岡 奈 緒 (園 田 中)

〃 野 崎 史 織 (大 成 中)

【内容の要約】

平成29年度3月に公示された中学校学習指導要領(総則)において、児童生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)等の学習の基盤となる資質・能力を育成することが明記された。ここでは情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが明記されている。

本市では、平成31年度学力向上対策の1つとして、「分かりやすい授業の実施と児童生徒の情報活用能力の育成」という視点から教育 ICT 環境の一層の充実と適正化を図ることが示されている。

これらを受け、今後、本市において ICT 環境が整備されていくのを見据え、ICT 機器の効果的な活用方法や具体的な指導イメージをもつことが、児童生徒の「情報活用能力」の育成の促進へと繋がるのではないかと考えた。そこで今年度の研究テーマを『「情報活用能力」の育成を目指した、ICT 機器の効果的な指導の在り方を探る』とし、授業計画や授業実践を通して研究をすすめていく。

5 道徳教育研究部会

「子どもの学びを つなぐ 道徳の授業づくり」

－ 各校種に応じた授業づくりを考える。 －

専任講師 杉 中 康 平

(四天王寺大学 教授)

指導主事 小 林 誠 一 郎

研究員 小 山 陽 子 (浜 小) 吉 見 響 (大 庄 小)

〃 秋 山 紀 子 (武庫の里小) 富 田 学 (中 央 中)

〃 由 良 健 一 (小 園 小) 藤 田 江 里 華 (小 田 中)

【内容の要約】

道徳の時間において、児童生徒が他者との対話を通して多様な考えに触れ、ねらいとする道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めさせることは、他者と共により良く生きようとする道徳性を育むことにつながる。

本研究では、各校種の発達段階の異なる子どもたちへ、道徳的価値に迫る授業展開について研究を進めた。発問の工夫と共に、多様な意見を出し合い高め合う授業のあり方を求めた授業実践の指導案の変遷を提示する。

1 2 令和元年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	小学校 昭和 40 年以降の教科書 中学校 昭和 37 年以降の教科書 高等学校 昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	令和元年 6 月 14 日 ～ 令和元年 7 月 3 日 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	平成 31 年度使用小学校用教科書 平成 28 年度～平成 31 年度使用中学校用教科書 令和 2 年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書

1 3 令和元年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集 (保有数)	
・ 教育関係図書	11,587 冊
・ 教育関係資料 (研究紀要・報告書)	43 冊
・ 雑誌収集	12 タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 (令和元年 5 月、9 月、12 月、令和 2 年 3 月の年 4 回発行)	No. 152 ～ No. 155
・ 「教育あまがさき」 (令和元年 10 月、令和 2 年 3 月の年 2 回発行)	第 84 号 ～ 第 85 号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 57 号

(様式3)

第 号
令和 年 月 日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名 尼崎市立
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____

 - 2 研修実施日 令和 年 月 日 ()

 - 3 対象者名 _____

 - 4 欠席理由 ※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

- 以 上